



熊本市保育園連盟 保育士会

こんにちは！保育士会です



R5年度



令和5年度がスタートしました。

入園や進級で新しい子どもたちとの出会いがたくさんだと思います。

同時に新しく園に入られたお仲間もたくさんいらっしゃるのだと思います。

ご就職おめでとうございます！そして、熊本市保育園連盟ようこそ！Welcome！

熊本市保育園連盟 保育士会です。現場の先生方に新しい情報や研修を企画・実施したり、連盟行事に参加協力する中でたくさんの保育の仲間がいることを知ってください。それぞれが愛情深く育てた子どもたちが学校や社会で出会いともだちになり、一緒に未来を築いていく仲間になります。私たちの保育の取り組みが、こども一人ひとりの未来だけではなく、社会、日本の発展、世界の未来につながっています。

こどもたちのため、何よりも自分自身のために一緒に学びあっていきましょう。

こどもを取り巻く状況が大きく変化しています。

全国保育士会、九州ブロック保育士会の情報や先駆的な取り組みも 熊本市保育園連盟保育士会、ブロック保育士会を通じて皆様にお伝えし、安心して保育に取り組めるようにと考えています。

令和5年4月1日 こども家庭庁発足、こども基本法施行です。

こども基本法は、日本国憲法および児童の権利に関する条約（※）の精神にのっとり、全てのこどもが、将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指し、こども政策を総合的に推進することを目的としています。同法は、こども施策の基本理念のほか、こども大綱の策定やこども等の意見の反映などについて定めています。

### こども施策は、6つの基本理念をもとに行われます。

- |   |  |
|---|--|
| <p>1 すべてのこどもは大切にされ、<br/>基本的な人権が守られ、差別されないこと。</p> <p>2 すべてのこどもは、大事に育てられ、<br/>生活が守られ、愛され、保護される<br/>権利が守られ、平等に教育を受けられること。</p> <p>3 年齢や発達の程度により、<br/>自分に直接関係することに意見を言えたり、<br/>社会のさまざまな活動に参加できること。</p> | <p>4 すべてのこどもは年齢や発達の程度に応じて、<br/>意見が尊重され、こどもの今とこれからにとって<br/>最もよいことが優先して考えられること。</p> <p>5 子育ては家庭を基本としながら、そのサポートが<br/>十分に行われ、家庭で育つことが難しいこどもも、<br/>家庭と同様の環境が確保されること。</p> <p>6 家庭や子育てに夢を持ち、<br/>喜びを感じられる社会を<br/>つくること。</p> |
|---|--|



※ こどもが自分の意見を言う・・・おおわだ保育園では、午睡前の検温時や外から帰った時、帰る前などのちょっとした時間に一人ひとりの子どもに「嫌なことなかった？」「痛いところはない？」とやり取りをされます。「自分の気持ちが言えるように」「ちゃんと聞いてもらえる」「助けてもらえる」日々の積み重ねが大切。

## 令和5年度 保育士会テーマ

<テーマ> 『こどもまんなか社会』～保育・・・守るべきものは?～

<主旨> 世の中が新型コロナウイルス感染症に振り回されてきた間に、こども家庭庁の創設、社会は子ども・子育てを中心大きく変化を遂げ、子どもたちを取り巻く福祉、保育、教育への期待が大きく膨らんでいます。

そんな中、保育事故や不適切保育など残念な報道が後を絶ちません。

求められることが益々増え、不安や負担に押しつぶされそうに感じることもあると思いますが、逆に言えば、保育に期待し、未来を託すということ。

大注目、期待の星が私たち保育者です。

全国保育士会倫理綱領に示されているようにどんな困難な状況下でも「子どもの育ちを支える」「保護者の仕事を支える」「子どもと子育てに優しい社会をつくる」のが保育者の使命です。専門職として堂々と「保育を語る」よう最も基本である「子どもの命」「人権を尊重」し、「保育」「教育」の学びを進めてまいります。

<事業>

### 1 階層別研修会の開催

- (1) 主任保育士・主幹保育教諭研修会
- (2) 中堅保育者研修会

### 2 専門研修会の開催

- (1) 障がい児研修会
- (2) 保育の安全研修会
- (3) 幼児教育研修会

### 3 ブロック研修会の開催

### 4 役員会の開催 (年8回)

こども家庭庁の創設・・・研修会を通して子どもの人権を考える機会や多様性について考える機会にしましょう。

また、「乳幼児期のこどもの教育と小学校教育との円滑な接続」について学び、架け橋プログラムを地域の小学校と連携し、作成するときのヒントに。

## 令和5年熊本市保育園連盟 保育研究大会

映画「こども会議」 監督 豪田 トモ氏

「こども会議」を通して私たち保育者は何に気づき、学び、実践していくか・・・

保育研究大会の前にちょっとだけ。

「こどもかいぎ」で伸びる10の力 (詳しくはHP検索を)

子どもたちが対話をする中で伸びる10の力

- 1 聞く力
- 2 理解する力
- 3 考える力
- 4 表現する力
- 5 繋がる力
- 6 自己を肯定する力
- 7 他人に共感する力
- 8 問題を解決する力
- 9 新しい価値を創造する力
- 10 正解のない社会を生き抜く力

仲間と一緒に話し合っ問題や課題を乗り越えた経験が、「話し合えば協力し合える」という信念や、大人になってから「自分たちの力で社会を変えていける」という「未来を信じる力」、「希望」になるのではないのでしょうか? (こども会議 HP より)

「保育の中で育みたい資質、能力の3つの柱」「幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿」に通じるものですね。  
私たち保育者も、語り合う中で園の保育はもちろん保育者一人ひとりの保育観を作っていきます。

※4月、5月研修が始まる前に『保育者のこころえ』や全国保育士会リーフレットを活用して、保育を振り返りましょう。知っているつもり、わかっているつもりが事故や不適切な保育につながります。また、全国保育士会HPの『社会の変化に対応した保育内容等に関する特別委員会「中間のとりまとめ」について』は、保育所保育指針・認定こども園教育保育要領の次の改訂につながるものです。保育を見直す参考になります。

